

「写像」 あらすじ

日本各地で七人の人が原因不明の失踪をします。現在の世界の荒廃の原因と関係あるのではないかと考えた主人公が、失踪の一年経過後にそれらの失踪事件を解明するために調査を開始します。主人公は大変愛に満ちた人で、出会った人を直ぐに好きになる性格です。そんな中、主人公自身も失踪を体験します。七つの失踪事件は主人公の活躍で一つ一つ解決してゆきます。この世界が自分の意識で出来上がっていることを理解した主人公は、人間の意識改革を意図した国家プロジェクトに参加します。主人公の恋人は、初め主人公と共に行動していますが、途中で分かれて別の道を生き始めます。彼女は犯罪組織に拉致され、悲惨な生を歩みます。しかし、その環境の中で、同じ環境に居る人たちを救い、愛情を持って育ててゆきます。国家プロジェクトは失敗に終わりますが、途中でプロジェクトから離脱した主人公は会社を立ち上げ、友人と共に画期的な新製品を世に出し、多大な利益を上げます。しかし、その利益をすべて困窮している人々に寄付し、自身は身を引こうとしますが、罨に嵌り投獄されてしまいます。受刑中にも主人公はトランスポート等により人々を助けます。刑期を終えて出獄した主人公の前には大勢の群衆の姿があります。それは主人公の切り開いて来た、人間の存在解明の結果、生きる道を知り、自己改革を果たすことの出来た人たちの姿だったのです。主人公を待ち侘びていた群衆の中に嘗て分かれた恋人が居ます。二人は抱きあい、この世に起こる意識変革の先鞭を切って、人々の前でアセンションします。